



# 清瀬二中だより

より豊かな心をつちかう より深く自ら学ぶ よりよくはたらき責任をわたす よりたくましく心身をきたえる

教育目標

愛情 学力 勤労 健康

令和3年6月号

校長 牧口 弘一

〒204-0024

東京都清瀬市梅園 2-9-15

Tel 042-493-6312

## 勝敗の向こうにあるもの

校長 牧口 弘一

5月の最終土曜日に2年ぶりの全校運動会を開催することができました。しかしながら、緊急事態宣言期間のために無観客での実施となり、保護者の皆様、地域の皆様には、大変、心苦しく、申し訳ありませんでした。

屋外の活動ではありますが、密になることを避けるために、生徒席を分散して、開閉会式も最初から準備体操の隊形で行いました。また、ダンスなどの演技種目は実施せず、個人競技も50m走などの2種目に絞り、学年種目についても例年とは異なる種目や方法に変更しました。内容も時間もとてもコンパクトで、午前中だけの行事となりましたが、全校生徒で活動できたことに、感謝と喜びを感じます。

本校の運動会の目的は、学習指導要領に記されている特別活動や学校行事の目標に基づき、「競技種目を通して、体力の向上を図るとともに、授業の成果を発表する。」「学級の団結力を深め、生徒間の交流を図る」「係活動を通して自治能力を高め、責任感・協力性・積極性を養う」という3つがあります。

生徒実行委員会が掲げてくれた運動会スローガンは「力戦奮闘 つかみ取れ 勝利の栄光」で、生徒たちは勝利や優勝といった目標を掲げてくれました。「目標」は「目的」を達成するための目印で、大切なのは一人ひとり異なる才能がある仲間と、持っている力に差があることはよしとして、同じ目標を持ち、智恵を出し合い、力を出し合い、心を重ねることだと思います。

競技ですから「勝者」と「敗者」という2つの結果があります。しかしその価値はきっと勝敗を越えたところにあると思います。生徒の皆さんがこの運動会を通して、何を思い、何をして、何を得て、どんな価値になったのかを自分に問い、どれだけ自分が成長できたのかを振り返ることが大切だと思います。

運動会の取り組み期間を通して、各学年、学級の練習のようす、予行から当日の生徒の皆さんの姿、そして運動会を振り返って書いた作文などを読ませていただき、運動会の目的は十分に達成できたと感じています。

これからもまだ、新型コロナウイルス感染症の中で中学校生活を過ごさなければなりません。これからも諦めるのではなく、この状況でできること、今だからこそ出来ることを考えて、挑戦していきましょう。

素晴らしい運動会をありがとうございます。素敵な清瀬第二中学校を創り上げてくださっている生徒の皆さんに心より感謝をします。



### 6行事予定

- |                            |                      |
|----------------------------|----------------------|
| 1日(火) 中央委員会                | 17日(木) 歯科検診          |
| 3日(木) 2年生清瀬市学力調査、専門委員会     | 18日(金) 避難訓練          |
| 4日(金) 教育実習終                | 21日(月) 選挙管理委員会       |
| 7日(月) 生徒会朝礼、1年三者面談始        | 22日(火) 専門委員会         |
| 2、3年生二者面談始                 | 23日(水) 定期考査前部活動停止期間始 |
| 10日(木) 耳鼻科検診               | 24日(木) 中央委員会         |
| 11日(金) 漢字検定                | 28日(月) 生徒会朝礼         |
| 14日(月) 1年三者面談終、2、3年二者面談終   | 30日(水) 1学期期末考査1日目    |
| 15日(火) 1年内科検診、合唱コンクール実行委員会 |                      |



# 運動会のふり返り (生徒作文)

「雲外蒼天」私たちのクラス旗に掲げられたこの言葉は、私たちが一致団結していくために重要な一語でした。そして、この一語はその重要な役割を十分に果たしてくれました。

「全員リレー」私は2位という結果に悔しさを感じた反面、喜びも感じました。やはりクラス全員が1位という結果を願っていたと思います。結果は2位でした。1位とは途中半周差ついていました。それなのに、誰一人として諦めていませんでした。クラスの皆が「もう少し、頑張れー」という言葉をかけるのを止めず、一人一人が息を切らしながら一生懸命走っていました。その結果1位との距離は縮まりました。アンカーが走りきったとき、私は「2位でも掴み取れるものがあるんだ」と思いました。1位であればもちろん喜びと達成感を分かち合うことができるでしょう。その代り二位以下は悔しさだけを感じるんだろうとばかり思っていました。けれど違いました。もちろん悔しさは感じましたが、皆を見ていて感じました。「誰一人として諦めずに全力で走った私たちは素晴らしいクラスだった」と。やる気がなく諦めているクラスであれば、半周差ついている時点で声かけやそもそも走ることになど様々な点で手を抜いてしまうのではないのでしょうか。けれど私のクラスはそうなりません。皆が全力で走り抜けた、全力でやり抜いた証です。そして、私はこの二組が「チーム」になれたような気がしました。一位でなくても最後までやり抜いた二組は最高のチームだと思い、とても嬉しくなれました。

運動会でなくてもそうですが、「あの時こうしていれば…」という気持ちは尽きませんし、後悔は募ります。それでも、支え合って全力で取り組んでいけるのが仲間でありチームだと思います。そんなことを学べたこの一日は百点などではなく二百点なのではないでしょうか。「運動会は勝敗ではない」ということの真の意味を知れた私は、思い出というものを糧にさらに皆で前に進んでいきたいと思いました。

(2学年 学年便り～理想を胸に～ No.14号 掲載より 転載)

※運動会のようなすは、学校ホームページに掲載してありますのでご覧ください。 ⇒

<http://www.kiyose.ed.jp/kiyosedainityuugakkou/yousu/2002883/2003224.html>

\*\*\*\*\*



## 運動部がんばる！ ～夏季大会～

4月下旬より、各運動部で夏季大会が始まっています。緊急事態宣言により、日程変更や練習の制約、無観客や入場制限などがある中、生徒たちは全力でプレーをしています。野球部は1回戦を突破して2回戦は小雨の中、強豪相手に善戦をしました。卓球部はブロック大会進出まであと一勝とというところまで頑張りました。バスケット部女子は3回戦まで進出し、男子バスケット部とバレー部は、初戦で惜しくも涙をのみました。サッカー部は予選リーグを2勝1分けて勝ち上がり、これから決勝トーナメントがはじまります。バドミントン部と陸上競技はこれから試合にのぞみます。また多摩大会が残っている部活動もあります。そして水泳や剣道、新体操など個人で出場をする生徒もいます。頑張っています！ 清二中生！



\*\*\*\*\*

## 祝 東京2020オリンピック 出場おめでとうございます。

### 久保田 愛夏 選手 競技：カヌースプリント 種目：女子カナディアンペア 500m

清瀬市教育委員会より、とても素敵なニュースが届きました。清瀬第二中学校と清瀬第六小学校の卒業生である久保田選手が、カヌー競技で、東京2020オリンピックの出場権を獲得され、日本代表として内定したそうです。おめでとうございます。本校に通われていた頃を知る当時お勤めだった教員にうかがうと、久保田選手は、東京都が中高生を対象に募集した「オリンピック選手育成プロジェクト」に自ら応募してカヌー競技に出会い、そこからオリンピックを目指し、夢をかなえたそうです。すごいですね。



心よりお喜び申し上げますとともに応援いたします。

●カヌー競技等については、下の関連サイトをご参照ください。

① NHK NEWS WEB「NHK ニュースサイト」

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20210430/k10013007181000.html>

② カヌー競技ガイド「NHK 東京2020オリンピックガイド」

<https://sports.nhk.or.jp/olympic/guide/canoe/>

①



②

